

大学コンソーシアム富山 令和6年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学（担当教員：助重雄久 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	富山の歴史文化や産業・生活などを理解し、富山の今後の地域づくりについて考える。
開催日時	令和6年8月23日(金)、26(月)～28(水)の4日間
開催場所	富山国際大学呉羽キャンパスE館701室(8/23、26、27) 富山県農協会館801号室(8/28)
参加人数	学生45名 【内訳】・富山大学18名・富山県立大学15名・高岡法科大学1名 ・富山国際大学11名
事業内容	<p>【令和6年度概要】</p> <p>今年度の「とやま地域学」は、「富山のいまと未来を考えるⅠ・Ⅱ」「富山の伝統を未来に活かす」「富山の自然を守り、未来に活かす」「富山のまちの歴史を振り返るⅠ・Ⅱ」の4つのテーマを設定し、富山の魅力を再発見するとともに、今後の地域づくりに活かしていくことを目的に企画・実施しました。</p> <p>今回の集中講義を通して、富山の魅力を地域・社会に伝えていく人が増えることを願い、来年度も講義を実施していきたいと思っております。</p> <p><b>【第1日目：8月23日(金)】</b></p> <p>① 受付（出席確認・資料配布）(9:10～9:30) 学長挨拶 （富山国際大学学長 高木 利久）(9:30～10:00) 授業ガイダンス・日程等に関する説明 （富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久）(10:00～10:40)</p> <p>② データから見る富山の生活と産業 （富山国際大学現代社会学部准教授 大谷 友男）(10:50～12:20)</p> <p>③ 富山の観光は総力戦！ （富山県理事・観光振興室長 宮崎 一郎 氏）(13:10～14:40)</p> <p>④ 富山のクマ 変化する分布と生態 （富山県立山カルデラ博物館主任学芸員 白石 俊明 氏）(14:50～16:20)</p> <p><b>【第2日目：8月26日(月)】</b></p> <p>⑤ 体験型講義 富山の組子 一組子細工を通じて、地域文化の継承と発展について考える一 （株式会社河島建具専務 河島 亜紀 氏）(9:10～10:40)</p> <p>⑥ 祭りや古民家が繋ぐ、人、モノ、文化 （越中祭青年会発起人 五十嵐 友輔 氏）(10:50～12:20)</p> <p>⑦ 城端人として生きる （城端蒔絵十六代 小原 治五右衛門 氏）(13:10～14:40)</p> <p><b>【第3日目：8月27日(火)】</b></p> <p>⑧ デジタル化で黒部峡谷の安全、人の安全を守る （大高建設株式会社代表取締役社長 大橋 聡司 氏）(9:10～10:40)</p> <p>⑨ 立山黒部の自然とその多様性</p>

(富山県立山カルデラ博物館学芸課長 飯田 肇 氏) (10:50~12:20)

⑩ 富山の暮らしと豊かな水

(富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏) (13:10~14:40)

⑪ 富山市街地の歴史をたどる (レクチャー)

(富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏) (14:50~16:20)

**【第4日目：8月28日(水)】**

⑫ 知事と語ろう 富山の未来

(富山県知事 新田 八朗 氏) (9:10~10:40)

⑬ 富山市街地の歴史をたどる (フィールドワーク) (10:50~12:20)

⑭ 富山市街地の歴史をたどる (グループ発表) (13:10~14:40)

(富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏)

⑮ まとめ、課題提出について (14:50~16:20)

(富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久)

1 日目  
富山のクマ



2 日目  
組子細工の体験



3 日目  
フィールドワークに向けて



4 日目  
富山県知事との交流

